

この時期の子ども

- ・倫理的な思考や理解、創造的な考えなどが高まってきます。個人差はあるものの自分なりの問題解決を求めようになります。
- ・互いに協力し合って、より充実した生活をつくろうという態度と行動が表れてきます。
- ・体も心も大きく変化する時期です。また、人とのつながりが広がってきます。

自分なりの解決を

やる気を認めて

体験活動が大切

何が分かって、何が分からないのかを見定め、自分なりに解決できるようなアドバイスをしましょう。

子どもたちのやる気を認め、励まし、成就感や自己有用感を味わわせてください。

小学校から中学校にかけて、子どもは急速に世界を広げ、成長していきます。様々な体験を通して、その子らしさを育み、認めてあげることが大切です。

さあ、
はじめよう！

学習の目安

90分

- ・決まった時刻に、学習を始めよう。
- ・学習する場所の整理、整とんをしよう。
- ・宿題を最後まで、やりましょう。
- ・勉強したところの復習をしよう。
- ・次の日の学校の学習を確かめましょう。

こんなことが できるようになろう



- 音読の習慣が身につく、内容をおさえながら読むことができる。
- 学習した漢字・熟語の読み書きができる。
- 国語辞典、漢字辞典を使って調べることができる。
- 日記を書いたり、調べたことを文章にまとめたりできる。
- 簡単な古文を読むことができる。



- 素早く、正確に計算問題ができる。
- 帯分数のたし算・ひき算ができる。
- 分数のかけ算・わり算ができる。
- 拡大や縮小の意味が分かる。
- XやYなど文字を使った式をかくことができる。



- 歴史上の人物や出来事について説明することができる。
- 理科の実験から、分かったことを理由をつけて説明することができる。
- 辞書や辞典、インターネットで調べることができる。



- 歴史上の人物の伝記を読み、その生き方を100文字程度の分にまとめることができる。



- 自分でめあてを決め、家の仕事を毎日、続けることができる。
- 心のこもったあいさつをして、家族や友だち、近所の方と言葉のキャッチボールができる。

しゅくだいのほかに こんなこともしてみよう

- 自分の好きな俳句や短歌、詩を暗唱したり、その日の出来事をもとに「今日の一句」をつくってみよう。
- 四字熟語や慣用句、ことわざを集めてみよう。使い方を考え、絵や言葉で表し自分だけの辞典づくりに挑戦しよう。
- 同じ形をしきつめて、いろいろな模様を描いたり、展開図を考えて、いろいろな立体を作ったりしてみよう。
- 外国の出来事について日本との違いについて考えを書きましょう。
- ニュースを見たり、新聞を読んだりして自分の考えをもって、家族を話し合ってみよう。
- 好きな歴史上の人物について調べて、歴史新聞を作ってみよう。

